Iino Elementary School News

飯野小学校だより

2020（令和２）年
１２月２１日
No.26
校長　原　裕

■　今日は冬至（とうじ）。

２１日は、地球の北半分では１年中で昼が一番短く、夜が一番長くなる日で、冬至と言われる日です。昔から、この日にかぼちゃを食べたり、ゆずをお風呂に入れたりして、栄養をとり、身体を温め、寒い冬を乗り切る知恵としてきました。

２学期もあと３日です。

■　三重バイオレットアイリス（MVI）の選手の皆さんに教えていただきました

１６日、鈴鹿を拠点にするハンドボールチーム、三重バイオレットアイリスのみなさんが来校しました。これは、２０２１年度開催（9/25～10/5）される、三重とこわか国体を紹介する機会とともに、鈴鹿で開催されるハンドボール競技を知ってもらうために企画されたものです。三重県での国体は、４６年ぶり２度目となり、スポーツが県内で盛り上がるまたとない機会と言えます。

子どもたちは選手の皆さんからの直接指導で、興味を持って練習できました。ミニゲームでは、シュートを決めたりゴールを堅く守ったりで、大いに盛り上がりました。今回の訪問では、日本代表の石立真悠子選手（上写真）や團玲伊奈選手（右写真）らトップアスリートを間近で見る貴重な機会でした。

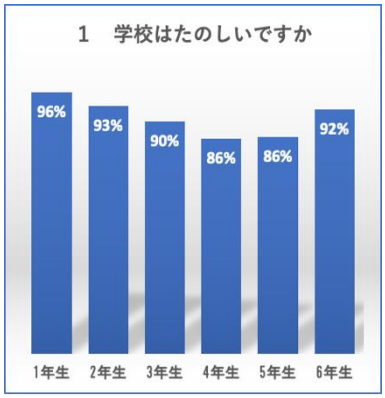
本校では、５年生を対象に、競技のお話やミニゲームを通して、ハンドボールの楽しさを教えていただきました。

子どもたちは、MVI の７人の選手から、ルールの説明を受けた後、パスやシュートの練習ではアドバイスをもらいコツをつかんでいきました。ハンドボールをすることが初めての子どもたちでしたが、最後のミニゲームでは思いっきり楽しむ様子が見られました。また、市の担当者からは、鈴鹿で行われる８つの競技や、大会中、三重には６５万人が他都道府県から訪問することなどのお話を聞きました。小学生も応援する機会があることを楽しみにしています。

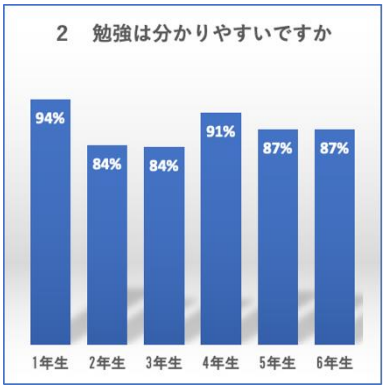
■ 飯野小学校2020年度「児童アンケート」の結果から ❶

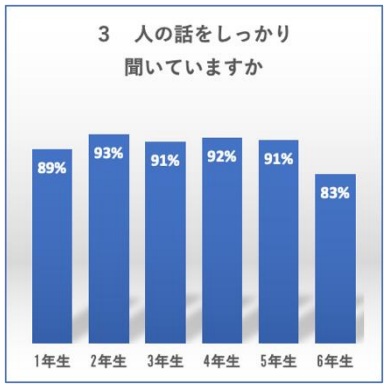
感染予防のための休校が明けた６月と１２月に、児童アンケートを行いました。また、保護者の皆様にも今月、アンケートを出していただきました。ご協力ありがとうございました。何回かに分けて、１９のアンケート項目の結果をお伝えするとともに、飯野小の教育活動の「強みや弱み」を整理し、今後の取組に活かしていきます。

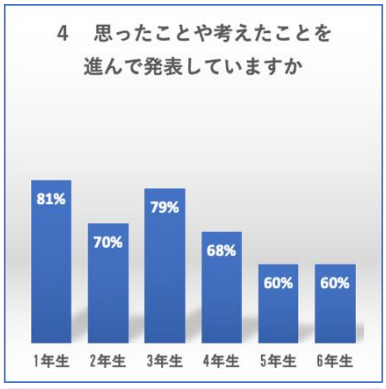
☆　グラフは12月のアンケート結果で、「はい」「どちらかといえばはい」と回答した割合

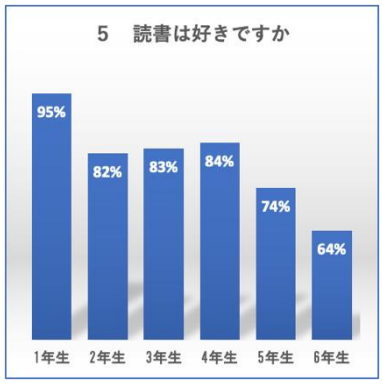


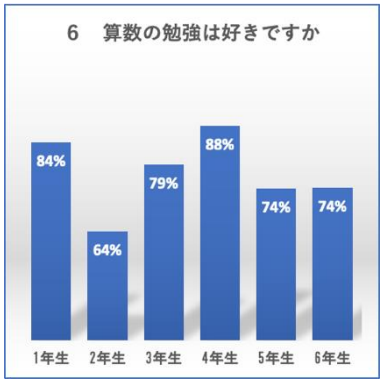
質問１は、学習への理解、生活や友人関係などの全てのことが影響してくることだと思います。昨年と比べると、コロナの影響も大きいです。全ての子どもたちの居場所になる飯野小学校を今後も目指していきます。質問４は低調な割合ですが、６月と比べると、進んで発表していると答える子が増えました。今後も、授業づくり、仲間づくりを継続します。

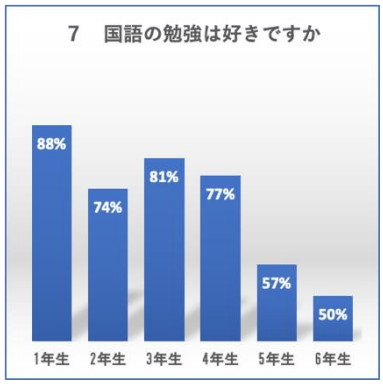












「質問６」の算数については、６月のアンケートと比べても、算数を好きと答えている子の割合が最も増えている質問の一つになっています。

昨年に続き、教員が授業の進め方などの工夫を研究し取り組んだことから、子どもたちの意欲や理解の向上に成果をあげていると言えます。また今年度から、４年生と５年生において、算数における少人数学習の導入も効果的であることがわかります。一方、質問７「国語は好き」と答える割合が高学年で半分ほどになっている部分が課題といえます。質問５の読書の傾向と合わせ、今後、取組の重点を図る必要があります。